

としま 議会だより

令和3年3月 発行（年4回発行）Toshima Village Council 2021.3 NO.92



TOPIX

○令和2年11月定例会

11月30日～12月2日（3日間）

条例の制定・改定 6件
補正予算 7件
契約 2件
指定管理者の指定 1件
規約変更 1件
権利の放棄 1件
発議 1件

議会だよりの表紙を飾る写真募集中です

島の風景や行事など魅力ある一枚をお待ちしています。
お問い合わせは議会事務局まで

○一般質問 3件

・永田和彦 議員 . . . 2P.
・坂元 勇 議員 . . . 3P.
・岩下正行 議員 . . . 4P.

船内での感染対策・日米共同訓練

○永田議員 フェリーとしま2に空気清浄機が設置されたということだが、更なるコロナ感染へのリスク軽減のためにも加湿器の設置は必要なのか。また適正な温度管理がされているのか。

○肥後村長 今回の村宮定期船のドックの際に、客室にオゾン発生機能の付いた空気清浄機を20台導入した。また加湿器の設置については、空気乾燥機能が船内と複数回外気との入れ替えをしているため、もうしばらく様子を見ていく予定である。船内の室温管理については、約25度を目安に設定しているが、湿度については、船内に湿度の調整に関する設備がなく、夏の多湿時期は、エアコン除湿で大まかな対応はできるが、湿度何



永田和彦 議員

%といった細かい対応はできないところである。

○永田議員 船内客室には、開け閉め可能な窓がないが、どのようなシステムにより、換気が行われているか。

○肥後村長 換気システムについては、客室に「ビル用マルチ空調」が採用されている。一般のエアコンにプラス、外気と室内からの排気を熱交換して、室内温度に近づけた新鮮な空気を取り入れる換気システムとなっている。

○永田議員 日米共同訓練のうち、臥蛇島で離島奪還を想定した訓練が行われたが、訓練実施の報道等を受けて、住民からの反響等はなかったのか。

○肥後村長 8日間という大規模な訓練を受け入れるのは初めてだったことから、防衛省に説明を求めるとともに、住民生活の安心、安全が脅かされることの無いよう、万全の対策を講じるように、九州防衛局長に要請したほか、訓練内容についても、テレビ会議を

教職員の配置・学校の利点

用いて、地元にも説明してもらい安全を最優先に考え、航空機の有人島における上空通過をしないことを求めた。その結果、米軍の艦船やオスプレイが目視されたことが確認されているだけで、本庁を含め、出張所、自治会への苦情や意見は届いていない。

○永田議員 自衛隊誘致に関して、協議会の設置についても考えたいとの事だったが、今後どのように考えているのか。

○有村教育長 事前に議会と協議し、必要な時期に、住民も含めて「誘致推進協議会」のような組織の設置を検討したいと考えている。

○永田議員 村内7中学校の教育現場における主要5教科の職員配置の状況を伺いたい。

○有村教育長 各中学校の教職員については、1学級の学校は、中学校籍の教頭と教員2人の計3人、2学級の学校は、中学校籍の教頭と教員4人が定められた定数となっている。十島村教育委員会

としては、各学校の実情を踏まえ、県教育委員会に要望し、人事を進めているところではある。だが、現状5教科以外の免許を所有する教員が配置されている学校もある。

○永田議員 教育長はどういった点に主眼を置いて教職員配置を行っているのか。また小規模校としての利点は何なのか。

○肥後村長 配置については、学力向上とたくましい心等を児童生徒に身につけさせてくれる資質や能力のある、そして離島における教育への情熱を持った教職員の配置を第一に考えている。小規模校の利点については一人一人に目が届きやすいというところである。また学校全体の雰囲気は温かく、子ども達が学びやすいのではないかなと思う。



GIGAスクール構想

○坂元議員 「GIGAスクール構想」の概要を伺いたい。

○有村教育長 概要について、1点目は、児童生徒向けの一人1台端末の整備。2点目が、高速大容量の通信ネットワークの整備。3点目が、様々な個性や特性を持つて

いる子ども一人一人に応じて、整備した環境で、どの子どもにも積極的に指導し、活用の深化を図り、児童生徒のICT活用能力が確実に育成できる環境構成。この3点を全国の学校現場で実現させて、教師や児童生徒の能力を引き出ししていくことを、文部科学省が打ち出しているところである。

○坂元議員 現在までの「GIGAスクール構想」の進捗状況を伺いたい。

○有村教育長 現在、ネットワーク設計事務から電源キャビネット整備業務まで終了しており、端末キ

ッティング業務を残すのみとなっている。現地調査については7月に、工事については7月から8月にかけて、校長、教頭の立会いの

もと、校内LAN整備事業を進め、小中学校校舎、運動場、体育館においても授業等での情報機器

(タブレット)端末が使用できるように整備推進をしている。整備したネットワーク環境において、

テスト通信を実施中であり、今のところは不具合が無い状況ではあるが、通信不具合等が発生した場合は、継続して業者による調査・補修・施工対応を予定している。

○有村教育長 研修については、これまで県総合教育センターに各

学校の教頭を派遣してICT機器の活用研究の公開を受講させ、

各学校で持ち帰った研究成果を波及させているところである。TV

会議システムをどの学校も積極的に活用しているため、TV会議システムとパソコンを繋いで、ICT

T環境をテレビ画面に投影して、複数の学校で共同授業を今

で行ってきている。この共同授業を滞りなく行うために、学校の先生方が放課後等にTV会議システムで互いのICT活用の情報を交換し、活用技能を高め合っている。

○坂元議員 ICT教育を推進していくことによるメリット・デメリットを伺いたい。

○有村教育長 メリットとしては、1つ目に動画や画像・音声やアニメーションなど、今までの授業で

できなかった、視覚や聴覚に訴える教材で授業を行えるので、豊富な情報量で分かりやすい授業が可能になること。2つ目にタブレットを使って、島外や県内外・外国の学校とのやりとりなど、コミュニケーションの機会が増えたりすること、3つ目に何回も繰り返し説明を視聴し直すことができ、理解を深めることができること。4つ目に理解でき、もっと先に進みたい子どもは、難しい問題や多様な資料を選択でき、自分に合った課題を進めることができること。デメリットとしては、1つ目に授業の準備にかなり時間がかかること。2つ目に機器の運用上の不具合、機械的な故障が生じたときに、即時のメンテナンス等ができないこと。3つ目に多くの授業で画面を見続けることによりブルーライトによる目の疲労など、身体的な変化が想定されること。4つ目にインターネットで調べると自分なりに考えて結論する前に先に正解が得られるため、思考力や想像力が身につけにくくなる恐れがあること。

ICT教育の推進

○坂元議員 働き方改革も進めなければならぬ中で、教職員のICTの研修について、どのように取り組むのか。

○有村教育長 研修については、これまで県総合教育センターに各

学校の教頭を派遣してICT機器の活用研究の公開を受講させ、

各学校で持ち帰った研究成果を波及させているところである。TV

会議システムをどの学校も積極的に活用しているため、TV会議システムとパソコンを繋いで、ICT

T環境をテレビ画面に投影して、複数の学校で共同授業を今

で行ってきている。この共同授業を滞りなく行うために、学校の先生方が放課後等にTV会議システムで互いのICT活用の情報を交換し、活用技能を高め合っている。

○坂元議員 ICT教育を推進していくことによるメリット・デメリットを伺いたい。

○有村教育長 メリットとしては、1つ目に動画や画像・音声やアニメーションなど、今までの授業で

できなかった、視覚や聴覚に訴える教材で授業を行えるので、豊富な情報量で分かりやすい授業が可能になること。2つ目にタブレットを使って、島外や県内外・外国の学校とのやりとりなど、コミュニケーションの機会が増えたりすること、3つ目に何回も繰り返し説明を視聴し直すことができ、理解を深めることができること。4つ目に理解でき、もっと先に進みたい子どもは、難しい問題や多様な資料を選択でき、自分に合った課題を進めることができること。デメリットとしては、1つ目に授業の準備にかなり時間がかかること。2つ目に機器の運用上の不具合、機械的な故障が生じたときに、即時のメンテナンス等ができないこと。3つ目に多くの授業で画面を見続けることによりブルーライトによる目の疲労など、身体的な変化が想定されること。4つ目にインターネットで調べると自分なりに考えて結論する前に先に正解が得られるため、思考力や想像力が身につけにくくなる恐れがあること。

○有村教育長 研修については、これまで県総合教育センターに各

学校の教頭を派遣してICT機器の活用研究の公開を受講させ、

各学校で持ち帰った研究成果を波及させているところである。TV

会議システムをどの学校も積極的に活用しているため、TV会議システムとパソコンを繋いで、ICT

T環境をテレビ画面に投影して、複数の学校で共同授業を今

で行ってきている。この共同授業を滞りなく行うために、学校の先生方が放課後等にTV会議システムで互いのICT活用の情報を交換し、活用技能を高め合っている。

○坂元議員 ICT教育を推進していくことによるメリット・デメリットを伺いたい。

○有村教育長 メリットとしては、1つ目に動画や画像・音声やアニメーションなど、今までの授業で

できなかった、視覚や聴覚に訴える教材で授業を行えるので、豊富な情報量で分かりやすい授業が可能になること。2つ目にタブレットを使って、島外や県内外・外国の学校とのやりとりなど、コミュニケーションの機会が増えたりすること、3つ目に何回も繰り返し説明を視聴し直すことができ、理解を深めることができること。4つ目に理解でき、もっと先に進みたい子どもは、難しい問題や多様な資料を選択でき、自分に合った課題を進めることができること。デメリットとしては、1つ目に授業の準備にかなり時間がかかること。2つ目に機器の運用上の不具合、機械的な故障が生じたときに、即時のメンテナンス等ができないこと。3つ目に多くの授業で画面を見続けることによりブルーライトによる目の疲労など、身体的な変化が想定されること。4つ目にインターネットで調べると自分なりに考えて結論する前に先に正解が得られるため、思考力や想像力が身につけにくくなる恐れがあること。

○有村教育長 研修については、これまで県総合教育センターに各

学校の教頭を派遣してICT機器の活用研究の公開を受講させ、

各学校で持ち帰った研究成果を波及させているところである。TV

会議システムをどの学校も積極的に活用しているため、TV会議システムとパソコンを繋いで、ICT

T環境をテレビ画面に投影して、複数の学校で共同授業を今

で行ってきている。この共同授業を滞りなく行うために、学校の先生方が放課後等にTV会議システムで互いのICT活用の情報を交換し、活用技能を高め合っている。

○坂元議員 ICT教育を推進していくことによるメリット・デメリットを伺いたい。

○有村教育長 メリットとしては、1つ目に動画や画像・音声やアニメーションなど、今までの授業で

小宝島港の整備について

○岩下議員 小宝島港では定期船の接岸条件や抜港などが年間を通して発生しているが、整備状況はどうなっているのか。

○肥後村長 接岸している防波堤の対岸、東防波堤の内側に新岸壁の整備を計画し、5年前の平成27年から着手している。新岸壁の早期完成に向けて、従来の社会資本整備交付金を活用した財源に加え、内閣府が所管する地域再生基金強化交付金の財源も活用して、整備をすすめているところであるが、整備しなければならぬ施設として大きく、泊地と岸壁がある。現在、泊地の浚渫を行っているが、環境省から許可された年度毎の土量関係もあり、この浚渫には、来年度以降の3年間、令和5年度までかかる見通しである。また、接



岩下正行 議員

岸施設については、令和4年度から着手する計画としているが、完成までに要する事業費総額においては、約50億円程度見込まれている。高額な事業費であり、今後の国の補助事業の採択状況は勿論のこと、村の財政状況にも大きなウエイトを占めることにもなるが、出来るだけ早期の接岸可能な岸壁整備を進めている。

○岩下議員 現在までの港の工事進捗状況と完成予定を伺いたい。

○上村土木交通課長 港湾計画が10カ年計画で話が進んでおり、平成27年から令和元年度までが「前期5カ年分」となっており、現在令和2年度から6年度までの「後期5カ年分」として進めている。泊地については概ね7割完了しており、岸壁については令和4年度から整備に入る予定である。現時点では令和13年、もしくは14年の事業完了を見込み、計画しているところである。

十島村議会 令和2年11月定例議会 議決結果 19案件を審議 全て全会一致で原案の通り可決しました

開催期間	11月30日～12月2日（3日間）		
審議した案件	村長提出議案	18件	議会発議 1件
可決・採決状況	原案可決	19件	
可決した主な議案	<ul style="list-style-type: none"> ・条例制定、改定について（6件） ・契約の締結について（2件） ・指定管理者の指定について（1件） ・発議（1件） ・令和2年度補正予算について（7件） ・権利の放棄について（1件） ・規約変更について（1件） 		

条例の制定・改正

○十島村職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定

令和2年度の人事院勧告及び鹿児島県人事委員会勧告を踏まえた改正に加え、管理職手当も含めて、職員の給与の適正化を図るために改正するもの。 期末手当・勤勉手当（ボーナス）を引き下げ（4.50月→4.45月）

条例の制定・改正

○十島村新型コロナウイルス感染症の検査手数料に関する条例制定

新型コロナウイルス感染症に対する PCR 検査を保険診療外として、無症状でも行えることとなったことや国の令和 2 年度疾病予防対策事業費等補助金（新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等への検査助成事業）交付要綱が制定されたことで、本人の希望により、65 歳以上の高齢者又は基礎疾患（慢性閉塞性肺疾患、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満 BMI30 以上）のある方は、PCR 検査を無料で受けることが可能となったことから、必要な事項を定めるもの。



○十島村職員の特殊勤務手当に関する条例等の一部を改正する条例制定の件

新型コロナウイルス感染症対策に従事する職員の、防疫等作業手当の特例を措置するもの。手当の額を 1 日につき、3,000 円としている。ただし、新型コロナウイルス感染症患者、又は擬似者の身体に接触して行う作業等については、1 日につき 4,000 円とする。

○十島村国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の件

地方税法施行令の一部を改正する政令（令和 2 年政令第 264 号）が令和 2 年 9 月 4 日に公布され、国民健康保険税の改正部分について、令和 3 年 1 月 1 日から施行されることに伴い、所要の改正を行うもの。

権利の放棄

十島村黒毛和種優良肉用繁殖雌牛預託事業により導入した繁殖雌牛が、起立不能症候群により死亡したことから、金銭債権を放棄しようとするもの。飼養管理については、日頃の管理は適正に行っており、管理者に責任がないと判断できるものであった。

契約

○東之浜港改修工事(2 工区)請負契約の締結

契約目的：東之浜港改修工事（2 工区）

契約金額：228,179,688 円

契約相手：竹山建設株式会社 代表取締役 竹山 博昭

○東之浜港改修工事(3 工区)請負契約の締結

契約目的：東之浜港改修工事（3 工区）

契約金額：62,858,125 円

契約相手：竹山建設株式会社 代表取締役 竹山 博昭

規約変更

○鹿児島県市町村組合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合理約の変更

指定管理者の指定

○小宝島生活改善施設の指定管理者指定について

小宝島婦人部会 会長 匠 富子



発議

○十島村議会議員の報酬等の特例に関する条例制定について

議会議員の報酬を抑制するために、所要の改正を行なうものであり、議会議員の報酬の月額、令和2年12月1日から令和4年3月31日までの間において、十島村議会議員等の報酬及び費用弁償等に関する条例（昭和42年条例第6号）第2条別表第1の規定にかかわらず、同条に定める額からその100分の10に相当する額を減じた額とする。

令和2年度補正予算

○国保特会	補正第6号	+210	→237,836千円	○船舶特会	補正第2号	△89,091	→998,251千円
○介保特会	補正第2号	△8,071	→87,398千円	○簡水特会	補正第3号	△15,585	→142,016千円
○後期特会	補正第2号	+331	→24,866千円	○診療特会	補正第3号	+7,424	→229,797千円
○一般会計	補正第5号	△967,862	→5,918,131千円				

11月議会ライブ中継視聴者数

島名	11/30	12/1	12/2	計
口之島	0	0	0	0
中之島	1	6	2	9
諏訪之瀬島	3	3	1	7
平島	0	4	1	5
悪石島	3	0	2	5
小宝島	2	0	0	2
宝島	1	3	1	5
計	10	16	7	33

編集後記

今回の議会だよりは、3名の議員の一般質問と議決結果のまとめを中心に編集しています。11月の議会ライブ中継視聴者数は右のとおりです。ぜひ多数の視聴をお待ちします。

議長 前田功一
 議会広報調査特別委員会 委員長 田中秀治
 副委員長 永田和彦
 委員 土岐純郎
 委員 岩下正行
 委員 日高久志
 委員 日高助廣
 委員 坂元勇
 議会事務局